

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

区民まつり	2
虫めがね	4
学習会報告	6
車いす寄付、実習所報告	7
小野塚さん連載	8
太田さん連載	9
和栗さん連載 寄付のお礼、夕会報告	10
カレンダー販売中!	11
スケジュール、編集後記	12

2008年
11
月号

読書の秋!



初めて、みなと区民祭りのイベントに参加させて頂いて、障害をもっている方とボランティアの皆さんが力を合わせて、活動のPRやイベントの成功に向けて頑張っている姿に感激を受けました。

また、そのお手伝いを出来たことは大変に良かったと思います。これからも微力ながらお手伝いが出来れば良いと思っています。

金子 豊



区民まつりに
参加しました！！

ボランティアさん編

たりせとかヨ密 | 今多まイ
がててつんなの回かすア風
と頂もたをコみはっ °はの
うき良ととミな `た前二子
ごまい思るユさ同の回度の
ざし経いこんじでは目ボ
いた験まとケとメす移にラ
ま °をすが | よンが動なン
しあさ °多シリバ `がりテ

薛
芬
芳

みなとボランティアセンターからお話があり、「みなと区民まつり」で、風の子会のお手伝いをさせていただきました。私は、今年の春に会社でボランティアサークルを立ち上げたばかりで、ボランティアとしては、まだまだ新人です。車椅子も押した事がない私に、何ができるのか、逆に迷惑をかけないか、心配だったので、ボランティアセンターの方に相談しました。センターの方が風の子会に確認していただいたところ、先方は大丈夫だとのお返事をいただき、それならば是非！と参加することになりました。当日午前中はあいにく雨でしたが、屋内の書道展や生け花などを会員の方と一緒に見学しました。普段仕事に追われ慌ただしい生活で、すっかり忘れていたものを取り戻せた気がしました。午後からは予報通り晴れて、カレンダーを売る合間に、模擬店巡りや、展示見学など、おしゃべりしながら、私も一緒に楽しませていただきました。（ビールと焼き鳥を食べるお手伝いをした時は羨ましかったです）

夕方になり、車椅子を押しながら、初めて車椅子を押したので怖くなかったか、会員の方に聞いてみたところ、「全然怖くなかった。うまかったよ！」と言っていた時は、本当に嬉しかったです。

また、次回のお手伝いにも声をかけていただき、なんとかお役に立てたのではないかと、ほっとしています。

現在サークルメンバーは8人でまだまだ駆け出しですが、いろいろなボランティアを体験して、成長していきたいと思っています。

また、風の子会の皆様とも活動できる日を楽しみにしております。

お手伝いのはずが、お茶をご馳走になってしまったり、励まされたり…本当にありがとうございました！

あすか製薬ボランティアサークル「マーガレット」 遠藤有子



虫めがね ～自分の癖～

今回からテーマは「自分の癖」です。一口に「癖」と言っても、「癖」というものの捉え方でさえ、人それぞれですね・・・
それも一つの「癖」かも知れませんね(^▽^ケケケ



私は自分の癖は二つしか解っていません。一つは普通に言えば「何々をやらなくってもいいんじゃないーあない」と言うのが、正しい言い方だとは思いますが気が付くと、「くっても」ではなくて「くも」と言っています。もう一つはふざけてわざと言っていたら、すっかり癖になってしまった言葉があります。それは「野菜売場」今でも冷蔵庫の野菜室のことを、ついそう言ってしまう内心ではシマッタと思っています。

太田 圭子



今月のむしめがねのテーマは、「自分のクセ」です。今思いつくところで僕のクセは、一つです。「やめよう、やめよう、早く止めなきゃなー」と思いついながら、ついこの歳までやり続けてしまいました。

本当はこれを言葉にするのも、文章にするのも恥ずかしいことなのですが、がんばって、適当にはぐらかしながら、文章にしたいと思います。

僕のクセは、「爪」をかんで食いちぎることです。

自分が暇だったり「W・C」にこもっている時や、口さみしい時、自分が切ってくるのを忘れた時は、どうしてもそのような行動をとってしまいます。体に「毒」だし、傍目から見ても決して良いものではないし、不潔だということも良く解っているのですがついやってしまいます。

習慣というものは恐ろしいですね



天海 隆一

虫めがね ～自分の癖の巻～



僕はコンビニやスーパーで新商品を見かけると、つい購入してしまう癖があります。また、雑誌でも新製品の情報が大好きです。新しもの好き、なんだと思います。お菓子やカップ麺などは試しに買って見てもどうということはありませんが、買い直すことが出来ない物は慎重にならないとだめですね。電化製品も新製品でとても高い時に買って、しまったと後で思うこともありましたが、周りには思われたくないので、口には出さないことにしています。

佐久間 庸



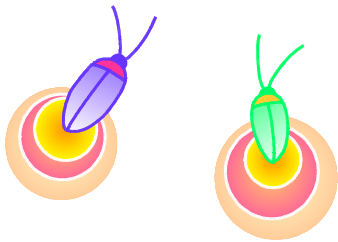
クセと改めて聞かれると難しく考えがちですが、平たくいえばと無意識に自分でしている行為（または習慣化しまっている行為）という解釈を自分なりにしています。さて本題に入ります、私のクセといえますと足を組んでしまうことと胸を反ったり、肩を廻したりすることです。足を組んでしまうのは医学的にいうと腰の骨がずれているから無意識に修正しようとしてしている行為だそうです。これをやるのは主に周りに人がいない時です。胸を反ったり肩を廻すのは肩こり予防のためと縮こまっていた筋肉を伸ばして血行を良くする意味も含まれています。

三木 直人



9月17日【ビデオ鑑賞】

今日はビデオ鑑賞で「火垂るの墓」をみんなで観ました。戦時中の話で孤児になった兄妹がいて歳の離れた幼い妹を、お兄ちゃんが懸命に守っていくのですが、お腹の病気になって死んでしまうという物語でした。



9月24日【たばこの話、怖い話】

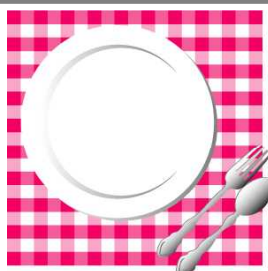
今日はタバコの話と本当にあった怖い話を、職員のお君とKさんが話してくれました。現在は喫煙者にとっては大変肩身の狭い社会であり、風の子の帰りに、或るビルの前を通ると2, 3人の人が暑い日も寒い日も、外でタバコを吸っているのを見て可哀想になりました。怖い話は本を読んでくれたのですが、その中で印象に残ったのは蜘蛛の話…。ある人が真夜中にふと目を覚ますと、天井にとっても大きな蜘蛛がはい回っている。恐くなって部屋から逃げ出そうと思い、布団の中でもがいたが手も足も動かないし悲鳴を上げて声も出ない、もがき続けていたら布団の上にその大蜘蛛がドサッと落ちてきて顔の方へ這い上がってくる。その毛むくじゃらの手足が顔に掛かったときウェアと声が出て我に返りましたが、その感触が長い月日が経っても忘れられないそうです。

学習会報告

太田圭子

10月1日【一般常識・坊主めぐり】

今日の学習会は一般常識と百人一首の絵札を使った坊主めぐりでした。一般常識は食事のマナー、お見合いのマナー、日本の常識、世界の常識を職員のお君が教えてくれました。後半は坊主めぐりで、私の印象では、いつものゲーム大会よりメンバーの声が楽しそうでした。



10月8日【区民まつりの準備】

今日は10月11日・12日に行われる港区民祭りの準備で、企画も工房も忙しいから学習会はお休みしました。メンバーもボランティアさんも職員も頑張ったので、お天気に恵まれることを心から祈ります。

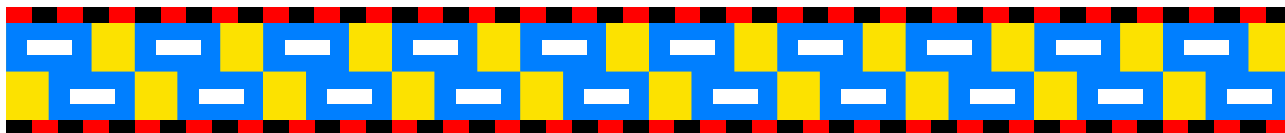
車イス寄付のお礼

十月二十一日（火）新橋の「NPO法人ボランティアセンター悠遊くらぶ」様より、車イス二台の御寄付を頂きました。

車イスは僕たちにとって大切なものです。それを二台もいただき、しかもこちらからお伺いすべき所を、実習所まで持ってきていただきました。感謝の念に堪えません。近頃、昔は良く歩けた人でも体力が無くなってきた人も多いため、大変有り難く、皆喜んでおります。いただいた車イスは会の皆で大切に使用させていただきます。本当にありがとうございます。

風の子会・メンバー一同

みんなで記念写真です



風工房

牛乳パックのパルプ漉きをやりました。和紙ハガキを作りました。箸入れを一生懸命頑張りました。内職が来たのでやりました。

芝学園祭に商品を出して、その総売上金額が『五千五百九十円』になりました。

斉藤 臣一

実習所報告

今年もみなと区民まつりが行われました。ちなみに第二十七回目なので自分と同じ年です。企画のメイン商品はカレンダーなので、区民まつりが近づくこと、カレンダーの仕入れ数を決めたり、チラシやポップ、ポスターを作ることに追われます。

何と言っても、その時々で売れ筋の商品が変わってくるので、仕入れには頭を悩まされます。さらにはカレンダーの出来上がりは区民まつり直前になるので、商品が間に合うのか、企画はハラハラし通しましたが、何とか間に合いました。

おかげさまで当日は、今話題の「崖の上のポニョ」のカレンダーが売り切れるなど、うれしいニュースもありました。ボランティアさんにもたくさんお手伝いいただき、賑やかで楽しい二日間でした。

佐久間 庸

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第12話 自堕落さを覚える

徹マンは、だいたい夜の11時前後から始まる。その時間帯がメンツが揃いやすい頃合いなのだ。その当時は卓を囲む人達はあまり酒を飲む人達ではなく、僕もそれほど飲まなかったので、みんなひたすら煙草をふかしながら牌を積んでいた。2年目の僕の部屋で行われる麻雀のメンバーは、僕を含めた2年生が3人くらい、それから僕の大好きな関西の先輩とOB、それに3階に住んでいる山形出身の先輩、そしてこのころよくこの部屋に入り浸っていた秋田の1年生がおおかたの顔ぶれだ。卓を囲むための4人を必死に探し回るときもあれば、5人目が次の番を待ちながらベッドに横になり雑誌を読んでいたりと、とにかく麻雀をしているときは夜中ずっと部屋が騒がしかった。

部屋に日が差し込んでくると、麻雀はお開きになる。メンツが各々の部屋に帰っていくのを見届けて、一服しながら部屋の片付けを軽く済ませると、廊下のスピーカーから朝食の始まりを知らせる声が流れてくる。それを合図に部屋を出て、階段を降りて扉を開け、健全でさわやかな空気で溢れている食堂でやや不健全な自分を感じながら朝食を取る。

朝食を終えるととりあえず部屋に上がる。1限目の講義がそろそろ始まりそうな頃だが、徹夜明けで頭は全く働かないし、食後でお腹も満たされていてとても大学へ行くという気にはならない。1年の頃はめったに徹夜などしなかったが、2年目には徹夜が恒常化していたので講義をサボることの後ろめたさも徐々に薄らいでいった。

僕は中学と高校をほぼ無遅刻無欠席で通った。それは母が毎日の送り迎えをしてくれたおかげなのだが、そうはいっても授業をほとんど休まずに通い通したことは少なからず僕の中でのささやかな自信となっていたはずだ。そんな僕が親元を離れた寮生活を始めたとたんに夜遊びに耽り、挙げ句の果てに授業をサボってしまっている。先に書いた麻雀だけでなく、夜通しのドライブだったり、たまには先輩に誘われて飲みに行ったり、あるいは当時やたらと流行っていたカラオケボックスに行き始めたのもこのころだ。高校までは真面目な学生生活だけしか知らなかった僕が、こうした一連の夜遊びにどっぷりとハマっていったのは、元々が遊び好きな性格だったためなのだろうか・・・

日が少し上がりかけてきた。さわやかな朝日が部屋の中に差し込んでくる中、煙草をふかしながらぼんやりと窓の外を眺める。健全な人達の健全な日常は既に動き出している。にもかかわらず僕の思考は徐々に止まり始め、ベッドの中へ潜り込みたい欲求にはとても勝てそうにない。

「明日は必ず、絶対にちゃんと授業に出ます・・・」そう言い訳しながら布団をかぶり、深い眠りに入っていく僕だった。

～ 第13話につづく ～

母の思い出

第十五回

太田 稔

母は中村さんが帰ると、笑いながら僕に言う「私が教えなかったのがいけなかったわね」それから一週間経った土曜日の午後、中村さんはまた僕の家に来てくれた、しかも友達を一人連れてきてくれたのだ。その友達が僕の将来を大きく変える、親友になろうとは思ってもみなかった。その名は「石橋玲二」彼は身障者と言っても非常に自分に自信を持った人だった。今で言えば「小田一石」みたいな感じの人だった。さて「青い芝の会」に入った僕だったが、文章がまるつきり下手で（今でも下手だが）会報にも載せてもらえずとても辛かったことを覚えている。さて話が脱線してしまったが母は昭和四十四年頃から、ガンの症状が始めてきたようだった。まず、食欲が亡くなり、脱力感が出てくる。家族の食事を作るのが、おろそかになるといった具合だ。あまりそれが、酷いので祖母や祖父が心配し始めた。「薫、一回病院で見てもらった方がいいんじゃないのかい」ところが母は、大の病院嫌い、（僕は母に似たのかな？）なかなか病院には行ってくれない。そのうちだんだん病状は悪化して行くばかりだ。そんな中「青い芝の会」に、思わぬ嬉しいニュースが飛び込んできたのである。それはその頃から始まったボランティア活動で、全日空の飛行機の整備士さんが、一人「青い芝の会」に入会してくれたのがきっかけだった。その人の名前は山下さんといい、間もなく僕の友達になってくれたのだ。山下さんと僕では、向こうの方が五歳以上年が上だったように記憶している。その山下さんがある日僕に聞いたことがある。「稔君は飛行機に乗ったことがある？」「ないよ」と答えると「稔君、乗りたい？」「僕は言った「そりや乗りたいよ」山下さんは少し考えているようだったが「稔君、僕、よく考えてみるよ、君がなるべく喜んでくれるような返事をするつもりだ」山下さんは、ここに「笑いながら帰っていった。一、三日たつてから彼はまた僕の家にまたやってきたが、あまり元気がなかった。」「どうしたの」と僕が聞くと「それがなかなか僕の思っていたとおりの話がうまくいっていないんだよ」「詳しくく彼の話聞いてみると、その頃の「青い芝の会」の会員数は意外と多く東京二十三区だけで全体の九十五%に当たる六十人が「青い芝の会」の会員人数だったのだ。そんなに多い人数を連れて行くわけにも行かず、山下さんは困っていた。すると会の事務局長が提案を出してくれた。「それならば、山下さん、いつそのこと逆に会員のみんなに応募してもらい、抽選で当たった人たちだけを、八丈島に招待しては」「事務局長、良いこと言ってくれました」ということで、全会員に往復はがきを出すことに決定したので、くじ運の悪い僕だが、何故かあのときは八丈島行きが当たってしまったのである。そして当時の僕は完全な雨男だったのである。（今でもその傾向はあるが？）そして僕は空の神様にうそを付いてしまったのだ。どうやってうそを付いたかと言えば、例えば出発する日を違えて言う。そして全然違うことを話すという念の入れよう。だから今考えてみると僕はなんて罪深いことをしたのだろうと思っている。そして当日は今にも泣き出しそうな天気、それでも何とか飛行機は飛んでくれた。初めて飛行機に乗った感動と喜びは今でも僕の心に残っている。飛行機の中では飴が配られる。そして僕たちの乗ったプロペラ機は、お昼ごろ八丈島に無事到着した。

シベリヤ出兵秘話

第53回

いよいよ、金の延べ棒の切断作業が始まった。始めは、慣れない作業で、なかなか捗どらなかったが、それでも、だんだん仕事の手順が解ってくると、作業が目に見えて、捗どってきた。夕食後、原吉少佐が、今まで疑問に思っていた事を、思い切って 瀬藤大佐に聞いてみた、実は、以前から部隊長殿にお聞きしたいとおりましたが、なかなかその機会がないので、今夜はお聞きする良い機会なので、自分が、かねてから疑問に思っていましたことについて、率直にお聞きしますが、何故に我々将兵全員が、酷暑のシベリヤの大地を、何日も掛けて、決死の思いで運んできた、金の延べ棒を、何の理由で小さく切断をするのか、上層部のやり方は解りません。原吉少佐の話をも黙って聞いていた瀬藤大佐は、実は私も同じことを思っていたのだ。瀬藤大佐は、原吉少佐に、静かに諭すように話し始めた。



～次回に続く～
栗 あきら

夕会便り

9月13日[区民まつりについて]

10月11日(土)・12日(日)にみなと区民まつりが行われます。メンバーの参加者を決めました。その結果、大多数の人が2日間ともに参加をするそうです。

9月20・27日・10月4日[30周年パーティーについて]

11月15日(土)に行われる「30周年パーティー」にて、メンバー全員の「出し物を2つ考えて」と総務部の方から依頼がありました。出し物について、話し合いは約一ヶ月にわたり行われました。「皆で演奏する」や「うち(田中)の母によるお琴の生演奏」や「太田夫婦の漫才」などの意見が出ました。その結果「西城秀樹のヤングマン」と「風の子関連クイズ」の二つに決まりました。ヤングマンでは、ボンボンを持って振りをつけて楽しく踊るということに決まり、クイズでは実行委員を立ち上げ、3名のメンバーが担当者になることになりました。その担当者は、太田稔さん、小野塚さん、田中の3名です。パーティーが楽しみですね。



田中 聡

寄附のお礼 (9月13日～10月10日)

賛助会にご賛同下さった方
武藤金一様

ご寄付を下された方
美馬貴志様

ありがとうございました



2009年 新春カレンダー好評受付中です!

毎年ご好評いただいております、2009年カレンダーのパンフレットを前回同封させていただきましたが、ご覧になられたでしょうか？

今年もきょうされんで毎年開かれているカレンダー作品コンクールで入賞した作品を掲載した「はたらく仲間のうた」カレンダーの他、著名な作家の方々のきょうされんオリジナルカレンダー、アイデア溢れる面白カレンダー、おなじみ人気のキャラクター等のカレンダー等、多数取り揃えてあります。この販売収入は会の運営資金や障害のある方達の工賃となります。

最終申し込み締め切りは11月22日（土）ですので、まだご覧になっていない方は是非とも、前月号のパンフレットをご覧になって、ご注文いただければと思います。

また前号のパンフレットや注文用紙がお手元に無い方は、風の子会のホームページからも閲覧およびダウンロードが出来ますので、ご利用下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

注文方法

※注文方法は以下の二通りあります。

- 風の子会へ電話又はFAXで注文。
- 風の子会へ注文用紙を持ってくる。

- * 商品のお届けは、ご注文締め切り後、約10日前後とさせていただきます。
- * 港区内は、配達致します。配達の際は、代金引換となります。
- * 郵送の際はお手数ですが、同封する振り込み用紙にてお近くの郵便局にてお振り込み下さい（手数料は無料です）。お買い上げ金額が5000円以下の際は、送料をご負担願います。



締め切り日

第一次締め切り 11月5日 (水)

第二次締め切り 11月22日 (土)

ニコンのCMが大好きです。木村拓哉がすごくカッコイイからです。私もカメラマン「タクヤ」におめかしして、「お願いします」って言って撮ってもらいたいです。きつとかわいく撮ってくれると思います。



右田 鷹子



川パンダを観に行つて面白かったそうです。ジャキー・チェン「酔拳」とか香港映画のビデオも良く従兄弟にも見たいです。

松本 恵司



映画が好きです。最近観たのはアーノルド・シュワルツェネッガー主演の「コマンドー」はアクションシーンに汗、力が入って興奮した。解決して一件落着。良かった。八階の人が品

スケジュール

- 10月31日（金）きょうされん全国大フォーラム
 - 11月2日（日）ヒューマンぶらざまつり
 - 11月4日（火）振替休日
 - 11月9日（日）消防訓練
 - 11月10日（月）振替休日
 - 11月15日（土）30周年記念パーティー
 - 11月19日（水）ホームヘルパー実務者研修
 - 平成20年12月25日（木）～平成21年1月4日（日）
- ◇◆冬休み◇◆◇



マナーの悪さについて書こうと思います。最近電車に乗っていると、（特にJR）マナーの悪さが目に付きます。混んでいる時より空いている時の方が人の迷惑をかえりみず携帯電話の通話やSNS、菓子を食べたり、出たゴミを座席と背もたれの間に押し込んだり、長いすの下に置いて自分の目的地に着いたら知らんぷりをして降りてしまう人が後を絶ちません。これは日本人として恥ずかしいことです。親御さんや学校でしつかりとしつけて欲しいと思います。と言うのは今の時代他人が注意すると逆ギレされて損をするからです。

三木 直人

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者
天海 太田 久野 隆
佐田 久野 隆
三木 直亮
幸木 直亮
和栗 史人

太田 中野 塚
小野 塚
松田 恵
右田 鷹子
吉田 代

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

